

障害者等サービスについて

1 サービス内容

- ・録音図書、マルチメディア DAISY、大活字本、点字本などの貸出
- ・対面朗読
- ・音訳ボランティア講習会(年2回開催、ボランティアは現在13名)
- ・宅配サービス
- ・福祉サービスコーナーの設置
- ・拡大読書席、車いす専用席の設置

【参考】令和4年2月時点の蔵書及び貸出状況

種別	蔵書	貸出	種別	蔵書	貸出
CD(朗読CD)	182	94	カセット	491	0
DAISY	539	296	大活字本	3,141	1,750
マルチメディアDAISY	136	26	福祉サービスコーナー設置資料	432	217
合計	4,921	2,383			

2 課題・現状

(1) 宅配サービス(令和2年7月事業開始)

- ・令和4年1月末時点で登録6名、累計12回96冊の利用と、利用が少ない
- ・周知方法や利用要件等について、検討する必要がある

区分	内容			
概要	身体障害等の理由により図書館利用が困難な方へ資料を郵送			
対象	台東区内在住で、以下のいずれかに該当する方 ①下肢・体幹・移動機能障害 1～2 級 ②心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸機能障害 1・3 級 ③免疫・肝臓機能障害 1～3 級 ④要介護 5			
貸出	区分	貸出点数	予約点数	貸出期間
	図書・雑誌	7冊まで	5冊まで	30日
	CD	2点まで	2点まで	
	DVD・ビデオ	1点まで	1点まで	
利用方法	電話、FAX、インターネット(WEBOPAC)のいずれかで資料を申込			
登録方法	窓口、郵送または FAX で申込			

(2) 福祉サービスコーナー

- ・障害関係の資料やチラシを配架しているが、利用につながっていない
- ・配架場所が分かりづらく、マルチメディア DAISY や大活字本と配架場所が異なっている

(3) コロナ禍における障害者等サービスの提供

- ・ 対面朗読の休止や音訳ボランティア講習会の中止等の影響があった。
継続してサービスを提供するための方策を検討する必要がある

3 今後

(1) 宅配サービス

- ・ 他自治体と比較して要介護度の要件が厳しい傾向があるため、見直しを検討
- ・ 要件見直し後、改めて事業の周知を行う

(2) 福祉サービスコーナー

- ・ 設置場所やレイアウトを見直す
- ・ 利用者ニーズを踏まえ、蔵書を強化する
- ・ 特集を組むなど、利用者の目を引く展示をする
- ・ マルチメディア DAISY を気軽に手に取れる工夫をする

(3) コロナ禍における障害者等サービスの提供

- ・ 宅配サービスや盲人郵便を活用した資料貸出を継続する
- ・ オンラインの対面朗読を今年度より開始したため、改めて周知を行う
- ・ 音訳ボランティア講習会について、実施方法を検討する